

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公表番号】特表 2019-530183 (P2019-530183A)

【公表日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-042

【出願番号】特願 2019-517121 (P2019-517121)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 10/0567 (2010.01)

H 0 1 M 10/0568 (2010.01)

H 0 1 M 4/13 (2010.01)

H 0 1 M 4/62 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 10/0567

H 0 1 M 10/0568

H 0 1 M 4/13

H 0 1 M 4/62 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 3 日 (2020.8.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 8 】

比較例 1

正極：

正極活物質として平均粒径 $10\ \mu\text{m}$ を有する $\text{LiNi}_{1/3}\text{Co}_{1/3}\text{Mn}_{1/3}\text{O}_2$ (NCM111 と略記) を用いた。正極スラリーは、正極活物質：P V D F：カーボンブラックを重量比で 8 9：4：7 に配合し、厚さ $15\ \mu\text{m}$ の A l 集電体の上に $200\ \text{g}/\text{m}^2$ の坪量で堆積させた。正極の密度は $2.8\ \text{g}/\text{cm}^3$ に制御されている。

負極：

$12\ \mu\text{m}$ の平均粒径と $5\ \text{m}^2/\text{g}$ の比表面積を有する球状天然黒鉛を負極活物質として用いた。負極スラリーは、活物質：C M C：S B R：カーボンブラックを重量比で 9 2：2：2：4 で配合し、 $20\ \mu\text{m}$ 厚の C u 箔上に $90\ \text{g}/\text{m}^2$ の坪量で堆積した。負極の密度は $1.4\ \text{g}/\text{cm}^3$ に制御されている。

セル：

このようにして得られた正極および負極を、多孔質ポリプロピレンセパレータを介して積層した。得られた積層体と、以下のように調製した電解液は、テストセルを作製するアルミニウムラミネート容器に密封した。該セルのエネルギー密度は $200\ \text{Wh}/\text{kg}$ に設計された。

電解液：

1 モル / L の LiPF_6 を、E C / D E C = 3 / 7 の混合溶媒に溶解して電解液を調製した。